

2020年

こまつがわ

6月号

制作：広報部 ぼくら

題字：宗新光さん

社会福祉法人ひらイルミナル

地域活動支援センターこまつがわ

〒132-0034 東京都江戸川区小松川2-9-2 1階

☎ 03-5858-6421



先月の出来事

～端午の節句～

「こどもの日」として親しまれる5月5日。この日は端午の節句にあたります。端午の「端」は「はじめ」という意味。端午は5月最初の「午（うま）」の日のことです。それが、「午（ご）」という文字の音が「五」に通じることなどから、5月5日が端午の節句として定着しました。

当センターにも鎧兜が飾られ、端午の節句を祝いました。この鎧兜、現在は身を守るものという意味が重視され、事故や厄災から子どもを守ってくれるようにという願いが込められ、飾られます。

新型コロナウイルスの発生で、現在街に活気がなくなっています。当センターでは、そんな皆さんがまた元気になれる日を願って、この鎧兜を飾りました。また皆さんが元気に来所する日を楽しみにしていますね。



～コロナ対策～

当センターのコロナ対策の一環として作られた、直接の対面を防ぐビニール製の感染防止シールドを紹介します。「密接」を防ぐため、利用者の方たちが作成したこのシールド。材料はビニールと紙ストローというお手製、製作費約100円で一つひとつ心を込めた逸品です。

また、一緒に写っているぬいぐるみはボランティアの方たちが製作した力作！当法人のキャラクターたちです。

これらのアイテム、そして作成に携わった頼もしいメンバーとともに当センターは今の状況を乗り切っていくつもりです。



～職員ペット紹介～

先代の猫が21年の命を全うし、秋に亡くなってから半年後にうちの子になりました。知り合いの方が保護した猫が妊娠をしていて、4匹の子が産まれたとのこと。そのうちの1匹を迎えました。

オスで、「ちゃぐ」といいます。来た時には茶色とグレーの毛が混じっていたのでつけた名前です。今は、テレビに映る差し棒が大好きです。パネルが出てくると、テレビの前に行き棒の先を追いかけまわしています。見えなくなると、テレビの下や裏側をのぞき込んで探すしぐさが可愛く、毎日のように動画を撮っています。

